

第45回子どもの幸せを考える研究集会

高崎ユネスコ協会主催「第45回子どもの幸せを考える研究集会」が講師にクシダ工業(株)会長/高崎商工会議所会頭 串田紀之氏をお迎えし、2025年11月8日、中央公民館で開催された。

挨拶では、ヤングケアラーや子ども食堂など現代的課題が指摘され、高崎市は夏休み中の小学生を対象にした「居場所づくり事業」を開始したと報告された。いじめ、不登校、SNS問題などに触れつつ、子どもがウェルビーイングを実感できる社会の必要性が語られた。

講演の演題は「高崎市商工会議所を通して見えてきた子どもの姿」。串田会長は、会頭として参加して目にした若者の音楽フェスで見せる熱量に触れ、子どもが没頭できる対象を持つことの重要性を強調し、大人は教科書以外の世界を示す役割があると述べた。会頭を務める高崎商工会議所の立場からは、にぎわい創出や商工業振興の取り組みを紹介しつつ、少子化や価値観の変化、転職の一般化など急速な社会変動に言及。特に「ハラスメント」など言葉が先行し過度に振り回されている現状に懸念を示し、流行語に頼らず地道な努力で生産性向上を図るべきだと述べた。

さらに少子化は高校や企業の在り方にも影響し、特色ある学校や広域的視野を持つ私立の強み、将来的な連携・再編の可能性にも触れた。変化の激しい時代にあって、本質を見極め行動する姿勢の大切さが示された講演であった。